

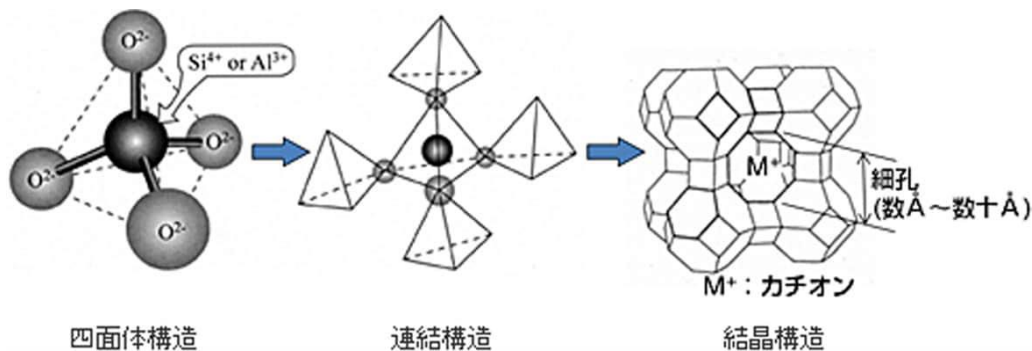
環境浄化への挑戦 - セシウム捕獲を例に

担当: 量子エネルギー工学専攻 渡邊・千田研究室

渡邊 雅之 教授、千田 太詩 准教授、○ 関 亜美 助教 (022-795-6338, tsugumi.seki.a5@tohoku.ac.jp)

集合場所: 量子エネルギー工学専攻(キャンパスマップ A40) 413室

集合日時: 10月6日(火) 16:30~、2回目以降は要相談



極低濃度まで測れるイオン濃度分析



原子吸光分析装置 (AAS)

試料の表面を拡大して観察



卓上電子顕微鏡 (SEM)



デジタルマイクロスコープ (DMS)



ゼオライトというアルミノケイ酸塩鉱物を使って、水溶液中のセシウムイオンをどのくらい捕まえられるかを実験で確かめます。